

# 涙活

『世界から猫が消えたなら』

[913.6/カ/]

マガジンハウス 川村元気／著

「この世界からひとつだけ何かを消す。その代わりにあなたは1日の命を得ることができる」30歳の郵便配達員は、陽気な悪魔からささやかれ…。

『そして、バトンは渡された』

[913.6/セオ/] 文藝春秋

瀬尾まいこ／著

血の繋がらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった森宮優子、17歳。父親が3人、母親が2人。だけどいつでも両親を愛し、愛されていた。

『52 ヘルツのクジラたち』

[913.6/マチ/]

中央公論新社 町田そのこ／著

自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれた少年。裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる。

『アルジャーノンに花束を』

[B 933/キ/]

早川書房 ダニエル・キイス／著

幼児なみの知能しかない32歳のチャーリーに、知能向上の手術の話が舞いこみ、白ネズミのアルジャーノンを競争相手に検査を受ける。

『もうじきたべられるぼく』

[E/ハ/] 中央公論新社

はせがわゆうじ／作

「ぼくは牛だから、もうじき食べられる」自分の運命を受け入れた牛は、最後に一目だけ、お母さん牛に会いたくて生まれ育った牧場に行くことにして…。

『はじまりの日』 [E/ロ/]

岩崎書店 ポブ・ディラン／作

毎日がきみのはじまりの日。きょうもあしたも、あたらしいきみのはじまりの日。ポブ・ディランの半世紀の道をたどる、名曲「フォーエバー・ヤング」の絵本。

## ブックリスト

書名	著者	出版社	請求記号
極上の言葉に涙する夜があってもいいじゃないか	浅沼道郎／著	みらいパブリッシング	159/A/
涙の音、聞こえたんですが	嘉成晴香／[著]	ポプラ社	91/カ/
花束みたいな恋をした	坂元裕二／著	リトルモア	912.7/サ/
僕は何度でも、きみに初めての恋をする。	沖田円／著	スターツ出版	913.6/オキ/
余命10年	小坂流加／著	文芸社	913.6/コサ/
あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	汐見夏衛／著	スターツ出版	B 913.6/シオ/
あの星が降る丘で、君とまた会いたい。	汐見夏衛／著	スターツ出版	B 913.6/シオ/
ぼくは明日、昨日のきみとデートする	七月隆文／著	宝島社	B 913.6/ナナ/

今回は「涙活」特集です。「感動の涙」は劣化した心の修復に効くそうです。たまには心をいやす読書をしてみませんか？

